

桃山学院大学の学生をインターンシップ研修生として受け入れ ～ 学生のアイデアでお取引先企業の経営課題を解決 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 福岡 寛）は9月3日（木）、桃山学院大学の学生を研修生に迎えたインターンシップの一環として、当金庫お取引先中小企業に対し、研修生が1カ月間検討してきた課題解決策のプレゼンテーションを実施しました。

本インターンシップは学生が当金庫のお取引先中小企業を実際に訪問し、経営課題をヒアリングしたうえでその解決策を提案する実践的なプログラムで、過去には学生提案のアイデアが実際に商品化されるなどの成果も生まれています。当金庫は令和3年度から毎年、同大学ビジネスデザイン学部の2年生を受け入れており、今年は10名が参加しました。

当金庫は令和3年に同大学と包括連携協定を締結して以来、職員による大学での講義や、学生起業家の創出を支援するファンドの立ち上げ、ビジネスプランコンテストへの参画など、金融教育や創業支援に取り組んできました。今後も地域との連携を図り、地元大阪の将来を担う人材の育成に貢献してまいります。

記

1. 対象企業（五十音順）

- (1) SHINTORAホールディング株式会社（大阪市北区・建設、リサイクル業）
テーマ「新事業に関するニーズと課題のヒアリング調査」
- (2) 浜弥鯉節株式会社（大阪市生野区・削り鯉節製造販売）
テーマ「新商品の売上増加策についての考察」



プレゼンテーションを行う桃山学院大学生

以 上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた
取り組みうち、右記の目標に寄与するものです。

